

1. 略歴

- 1982年 3月 東京大学文学部第三類フランス語フランス文学専修課程卒業
1984年 4月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程入学 (仏語仏文学)
1987年 4月 東京大学大学院人文科学研究科博士課程進学
1988年 10月 パリ第12大学博士課程 (～1991年9月) (フランス文学、フランス政府給費留学生)
1992年 3月 東京大学大学院人文科学研究科博士課程退学
1992年 4月 東京大学文学部助手
1994年 4月 白百合女子大学文学部専任講師 (フランス文学)
1997年 4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授 (フランス語フランス文学)
2010年 4月 東京大学大学院人文社会系研究科教授 (フランス語フランス文学)

2. 主な研究活動

a 専門分野 b 研究課題

ポール・ヴァレリーを中心とする 20 世紀フランス文学研究。苦痛、眠り、エロス等々、知性では割り切れないものをどこまで明晰に捉えられるのか、終わりなき探求をおこなったヴァレリーの作家活動を、「夢」というトポスに焦点を当てて研究してきた。同時に、ヴァレリーが偏愛した断章形式についても、ブランシヨとバルトを視野におさめながら、分析を進めている。

また、科学研究費補助金による研究「フランス文学における時間意識の変化」(2004-2006 年度)では、より広い視野から、現代の変化しつつある時間意識の把握を試みている。特に 1910-30 年代における〈前衛〉と〈後衛〉の錯綜した関係、さらにカリブ海の文学における時間意識の表現に焦点を当てながら、〈近代〉の特質の一端を明らかにすることを目指している。

c 主要業績

(1) 著書

『フランス文学講義——言葉とイメージをめぐる 12 章』中公新書、2012.1、240p.

(2) 共著

『〈前衛〉とは何か? 〈後衛〉とは何か?——文学史の虚構と近代性の時間』(鈴木雅雄との共編著)、平凡社、2010.4、552p.

(3) 論文

« Littérature et langage indirect chez Valéry », *Valéry et l'idée de littérature*, Sous la direction de William Marx, Fabula : la recherche en littérature, « Colloques en ligne », 2011

(<http://www.fabula.org/colloques/document1418.php>)

« « La bêtise n'est pas mon fort » — la notion de bêtise chez Valéry et chez Flaubert », 立教大学フランス文学, n° 40, 2011 年, p.67-79

「言葉と写真——ロラン・バルトの『明るい部屋』を中心に」、『文化交流研究』、第 24 号、東京大学文学部次世代人文学開発センター、2011 年、p.91-104.

「内なる対話——ヴァレリーからベケットへ」、『仏語仏文学研究』、第 42 号: 田村毅先生退官記念特集号、p.155-169、2011.5

「散文芸術としての『シルトの岸边』」、『別冊水声通信 ジュリアン・グラック』、p.116-136、2011.12

(4) 翻訳

パトリック・シヤモワゾー『カリブ海偽典——最期の身ぶりによる聖書物語』、紀伊國屋書店、2010.12、967p.

ポール・ヴァレリー『〈夢〉の幾何学』、『ヴァレリー集成 II』、筑摩書房、2011.5、645p.

(5) 学会発表、ラウンド・テーブルなど

« Littérature et langage indirect », « Paul Valéry et l'idée de littérature » (「ポール・ヴァレリーと文学概念」、パリ第 10 大学主催国際研究集会), Université Paris Ouest Nanterre La Défense, 2010.6.4

「〈逸話的自我〉——バルト『明るい部屋』再考」、東京大学文学部フランス文学研究室主催によるワークショップ「20 世紀フランス文学と写真」での発表、東京大学、2010.11.6

« Degrés du dessin : une autre poétique de Paul Valéry », 東京大学文学部フランス文学研究室主催 (研究代表者 : マリアンヌ・シモン=及川) による国際研究集会« ECRIRE L'IMAGE »での発表、東京大学、2010.11.27
「ヴァレリーとフロイト——声・仮面・文化への不満」、東京大学文学部フランス文学研究室主催 (研究代表者 : 塚本昌則) による研究集会「フロイトの時代——文学・人文科学・無意識」での発表、東京大学、2011.11.5

(6) 受賞

第48回日本翻訳文化賞、日本翻訳家協会、2011.10.28 (『カリブ海偽典』の翻訳にたいして)

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

国際基督教大学講演「言葉と写真——ロラン・バルトの『明るい部屋』を中心に」、2011.6.8

(2) 学会

日本フランス語フランス文学会幹事長、2011.6～2012.5